

令和4年産

仙台麦作情報

2022. 4. 18 第5号

宮城県仙台農業改良普及センター

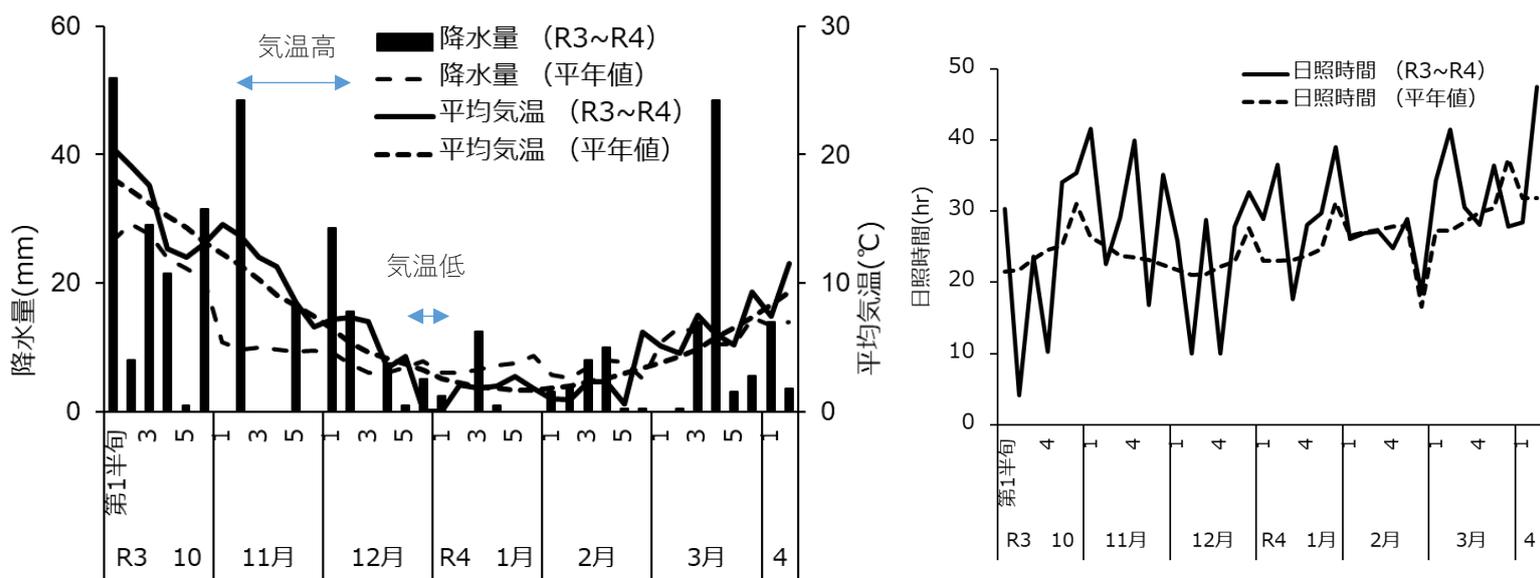
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

《今後の栽培管理におけるポイント》

- ほ場排水の徹底…湿害と赤かび病の発生助長を防止！
- 適期追肥の実施…麦は肥料で穫る！
- 赤かび病の適期防除…2回防除が基本！

1 気象経過（10月第1半旬～4月第2半旬，仙台アメダス）



○麦生育・栽培管理への影響

- ・播種後～12月中旬までは平年に比べ気温は高い傾向でした。年末年始は低温となりましたが、1月第2半旬以降の気温は概ね平年並となりました。
- ・12月から2月にかけて、降水量は多くないものの雪の日が続き、麦踏みが難しい日が多々ありました。
- ・4月に入ってから気温が高くなり、麦の生育も急速に進んでいます。
- ・生育ステージについては、適期に播種された大麦のほ場では4月18日頃に減数分裂期、4月下旬に出穂期、4月末頃から5月第1半旬に開花期を迎えると思われます。

2 大麦生育調査結果（4月12日現在）

- ・幼穂長：仙台市のほ場では、1.5cmを超えており、4月18日頃に減数分裂期を迎えます。

大和町のほ場では、0.4cmでした。

- ・今後も気温が高く推移する予報のため生育が急激に進むと思われます。早めに幼穂長を確認し、適期に確実に追肥を実施しましょう。

表1 生育調査ほにおける生育調査結果（令和4年4月12日調査）

品種	ほ場	条間(cm)	播種時期		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		幼穂長(cm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
ホワイトファイバー	大和町 落合	34.1	11月1日	+14	16.4	42	353	39	0.4	-1.2
	仙台市 宮城野区	26.0	10月24日	+6	28.5	87	589	77	1.7	-1.5
シュンライ	仙台市 宮城野区	25.2	10月22日	+2	29.5	67	667	70	1.5	-1.8



大和町ホワイトファイバー



仙台市シュンライ



仙台市ホワイトファイバー

3 今後の栽培管理

①排水状況の確認

- ・麦類は節間伸長期から登熟期にかけて、湿害の影響を受けやすくなります。降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要 です。

「暗きよの再点検（閉じていないか）」「明きよの手直し」を行いましょう。

表2 麦類における生育時期別の湿害

生育時期	湿害の影響
節間伸長期～出穂期	根の機能障害、幼穂生長阻害による穂数の減少や穂の縮小化
出穂期以降	粒の充実不足による千粒重の低下、収量・品質の低下など

②適期追肥の実施

下記の表に従って適期に追肥しましょう！

大麦の追肥を穂揃期にすると
硬質麦になるおそれがあります！
追肥は減数分裂期までに行いましょう！

表3 追肥の目安

生育ステージ		幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長3cm)	穂揃期 (8~9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期(目安)	3月中旬	4月中旬	★硬質麦防止のため 実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	
小麦	時期(目安)	4月中旬	4月下旬	5月上~中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)	窒素成分4~5kg (硫安20~25kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)

※時期はおおよその目安であり、実際には現地ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

○減数分裂期の追肥(大麦, 小麦)

- ・効果：1穂粒数の増加，登熟の向上
- ・減数分裂期に追肥を実施しないと，細麦化するおそれがあります。減数分裂期後の麦体への窒素供給量が少なくなり，1粒当たりの光合成産物の分配量が少なくなるためです。
- ・大麦では，追肥時期が遅れると硬質麦の発生原因となるため，幼穂長や止葉葉耳間長を観察し，適期に追肥を実施しましょう。
- ・「ホワイトファイバー」は，もち性大麦であり，高いβ-グルカン含有率が求められます。β-グルカン含有率の低下を避けるため，減数分裂期に追肥を必ず実施しましょう。

* 幼穂長の確認方法

- 1) 生育中庸な株の，長い茎3本を選びます。
- 2) 茎の膨らんでいる部分を手で剥き，カッターで切ります。
※内側の葉ほど根元付近は慎重に剥きましょう。
(勢いよく剥いてしまうと，幼穂がちぎれてしまいます)
- 3) 幼穂が茎の中心部に見られるので，定規等で計測します。
- 4) 3本の平均値を求め，幼穂長が約3cmなら
「減数分裂期」と判断します。

芒は長さに含まない

幼穂長



*** 止葉葉耳間長による減数分裂期の推定について**

- ・大麦（シュンライ、ホワイトファイバー、ミノリムギなど）

→ほ場の2割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき

- ・小麦（シラネコムギなど）

→ほ場の4～5割程度の茎が止葉葉耳間長±0mmに達したとき

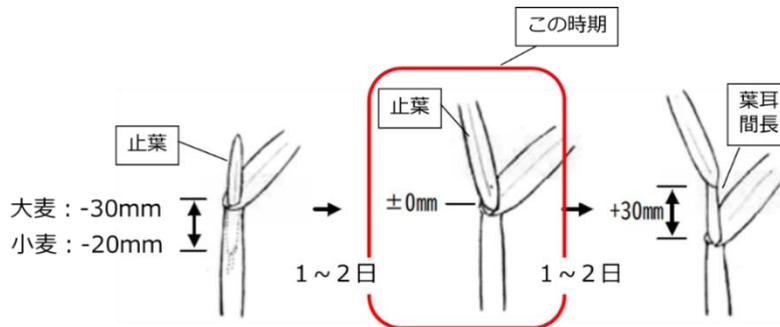


図1 止葉葉耳間長の形態的推移（普及に移す技術第81, 83号参照）

○穂揃期追肥（小麦）

- ・効果：千粒重，容積重，子実たんぱく質含有率の向上
- ・小麦では，高いタンパク質含有率が求められます。品質を確保するため，追肥は幼穂形成期+減数分裂期+穂揃期の3回を基本とします。

③赤かび病の適期防除～2回防除が基本！～

- ・防除時期…1回目（重要！）：開花始期～開花期，2回目：1回目から7～10日後
 ※降雨が続く場合は，3回防除を行います（3回目：2回目から7～10日後）
- ・麦類の赤かび病は，子実収量や品質を低下させる重要病害となっています。また，人畜に有害なかび毒を産生するため，農産物検査では食用麦の赤かび粒混入限度がかなり厳しくなっています。そのため，予防防除を徹底し，発生防止に努めましょう。
- ・ほ場の土壤水分が高いと，発生が助長されます。排水対策を徹底しましょう。

表4 調査ほにおける出穂期及び開花期予測（4月12日現在）

ほ場	出穂期	開花期	アメダスデータ地点
大和・ホワイトファイバー	5/7	5/13	大衡
仙台・ホワイトファイバー	4/27	5/2	仙台
仙台・シュンライ	4/25	5/1	仙台

※普及に移す技術第91号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」を参照して作成。

※予測では，出穂から8～10日程度で開花期を迎えますが，**今後気温が平年並か高くなる予報ですので，実際には麦の生育を確認し，防除を行いましょう。**

○1 か月予報（4/14～5/15，仙台管区气象台 4月14日発表）

2週目は気温がかなり高くなる見込みです。天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

4/16～4/22	気温は平年並または高い確率ともに40%です。
4/23～4/29	気温は高い確率70%です。
4/30～5/13	気温は平年並または高い確率ともに40%です。